

名簿の作成方法および凡例

I. 名簿について

- 基準日（2019年4月30日）時点の全ての都道府県知事および市町村・特別区長について掲載した。
- 当選回数は首長個人の連続当選回数（市制施行等の場合も町長等からの連続回数）であるため、落選などの理由でいったん退いたあと再度当選した場合には1からカウントしなおしている。
- 知事および市町村・特別区長名については本名を掲載した。知事については、立候補届出時に本名に代えて通称を届け出た場合は括弧書きにて下段に掲載した。ただし、戸籍名を仮名書きにする・旧漢字を新漢字にする等の事例については本名のままとした。

II. 首長選挙一覧について

- 知事および市町村・特別区長については、2018年5月1日から2019年4月30日までの間に実施された全選挙について掲載した。
- 選挙ごとに全ての立候補者を得票順に掲載した。
- 党派別欄は候補者の公認政党について記載し、政党による推薦・支持がある場合でも公認政党がない場合は「無」と記載した。
- 当選回数については名簿篇に準ずる。
- 推薦・支持政党は、公明党、共産党、社民党、沖縄社会大衆党の公認、推薦もしくは支持の有無を調査し、各政党本部に照会した結果を掲載した。自民党、立憲民主党、国民民主党、新社会党、日本維新の党、新党大地、大阪維新の会については、朝日、毎日、読売の各新聞情報により判断した。大阪維新の会、自由党、希望の党の推薦・支持の有無はその他に記した。
- 推薦・支持政党の欄中、◎は公認、○は推薦、△は支持を示す。推薦・支持の区別についての各党の基準は次のとおりである。ただし、地方支部独自のものは含まず、その他欄に記載した。

<社民党> 各都道府県連合が推薦・支持を決定。推薦は候補者と政策協定を結ぶことが前提。

<公明党> 推薦は他政党などと構成する合同選対に参加して支援する場合。支持は他の政党・団体が構成する合同選対に参加せず独自にその候補を推す場合。

<共産党> 推薦は、原則として候補者と政策協定を結び、共闘組織によって選挙を行う場合。それ以外は支持。

- 推薦・支持政党のならびを次のようにした。

自	立	国	公	共	社	維
自民党	立憲民主党	国民民主党	公明党	共産党	社民党	日本維新の会

- 無投票の場合でも、公示における選挙の期日を「投票日」として記している。

Ⅲ. 議会選挙一覧について

- 都道府県議会および市町村・特別区議会については、2018年5月1日から2019年4月30日までの間に実施された全ての一般選挙の結果について掲載した。なお、補欠選挙の結果については掲載していない。
- 無投票の場合でも、公示における選挙の期日を「投票日」として記している。
- 議会内党派のならばを次のようにし、これ以外の党派については諸派とした上で、諸派内訳欄に党派名、得票数（当選者数 / 立候補者数）のように掲載した。

自民	立憲	国民	公明	共産	社民	社大	維新
自民党	立憲民主党	国民民主党	公明党	共産党	社民党	社会大衆党	日本維新の会

- 議会内党派別の議席数と得票数は、選挙時のものであり、選挙後の所属党派の変更や補欠選挙の結果などは含まれていない。
- 諸派について、内訳の詳細についてはウェブサイトにおいて公開している。なお、大阪維新の会については諸派に掲載している。